

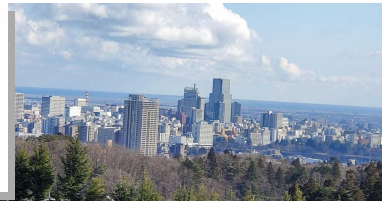


仙高の風

令和2年5月7日発行 第3号

国見の校舎から水平線を臨む

いつも見えるわけではなく、白い霞に隠れる日も。それはまるで目標や夢や希望が時々曇って見えなくなる高校生活のよう。そんな時はじっと待つてみることも必要です。『仙高パンフレット』



仙高同窓会長 加藤吉男さん（高19回）からの応援メッセージ

「今だから出来ること」



仙高生の皆様いかがお過ごしですか。

コロナウイルスが猛威をふるう中、不自由な生活を強いられている事にお見舞い申し上げます。

特に一年生は合格したのにかかわらず高校生活が始められない状況は大変だと思います。

しかし、このような状況に置かれているのは私たちだけではありません。日本をはじめ世界の人々も同じ状況だと思います。

開幕を待つプロのアスリートの皆様も同様で、地元紙によるとベガルタ仙台の選手たちは「外での練習の機会が限られている中、工夫しながら心身を整えています」と言っています。

今、私たちはアスリートの皆様のようにコロナ収束後の生活を想定し準備を進めることが大事だと思います。高校卒業後のこと、将来のことなどを考える良い機会にして下さい。

そのために高校時代をどう過ごすのか、どんなことを身につければ良いのか。将来の目標や計画をたて、準備をする時間にあてる事が出来たら充実した高校生活を送る事が出来ると思います。

この空いた時間の持つ意味を良く考えてみて下さい。ガンバレ仙高生！

宮城県警察本部総務部長 警視長 内海裕之さん（高31回）からの応援メッセージ

「治安を守る」



私は、町田校長先生と同級生の仙台高校 31 回生であります。警察官となって 38 年目を迎え、定年退職まで最後の 1 年となっております。ちなみに、我が宮城県警察には、現在、仙台高校OBが 100 人以上勤務しており、お互いに切磋琢磨しながらも、助け合って頑張っているところであります。

さて、治安を守ることを責務とする警察にはいろいろな仕事がありますが、その中でも仙台高校OBは刑事になる者が多いように感じています。私もその一人でしたが…。もとより刑事の仕事は非常に大変で、重大な事件が発生すれば休日返上で連日深夜までの捜査を強いられることとなりますが、その時に自分自身を奮い立たせる原動力の一つとなるのが犯罪被害者の存在です。

犯罪被害者の悲しみや苦しみ、悔しさを自分のことと考え、決して忘れることなく、それを少しでも軽減

する目的の下、犯人を逮捕して社会正義を実現するという極めて分かりやすく、かつ、やりがいのある仕事であり、一度やったらやめられない魅力ある仕事でもあります。そして、この愚直さは、仙台高校の校風ともマッチしているのではないかと考えているこの頃です。

ところで、現在の新型コロナウイルス感染症の問題は、正に前代未聞の異常事態であり、現役生徒の皆さんも非常に大変で苦しいところであると推察しておりますが、大変な時であるからこそ、決められたことを守りつつ、自分が今すべきことは何であるかを考え、やるべきことを一所懸命に頑張ることが大事だと思います。

我々警察官も、感染症自体と闘いながら、県民の皆さんが安全で安心な生活を一日も早く取り戻せるように、便乗犯罪やストレスから生じるトラブル等に目を光らせるなど、治安の維持・向上のために更に努力してまいります。

なお、宮城県警察は仙台高校の皆さんを待っています。女性も大歓迎です。どうか警察官となり、刑事となって活躍していただきますようお願いします。

仙台89ERS 片岡大晴さん（高56回）からの応援メッセージ

「仙高のみんなへ!!」



仙台 89ERS、背番号 91 番のソルジャーこと片岡大晴です!!

タイトルに馴々しく「みんな」なんて書いてしまったこと、どうかお許し下さい。歳もかなり離れていますし、皆さんにはお会いしたこともないのですが、僕も高校生時代、皆さんと同じ仙台高校の校舎で3年間過ごしました。なので僕は、仙台高校の皆さんを“仲

間”だと思っています。だから皆さんのことを仲良しげに「みんな」と呼びたかったんです!

僕は当時、バスケットボール部に所属していました。仙台高校は全国屈指の強豪校で、全国大会に出るのは当たり前、練習も「日本一厳しい」と言われていたバスケットボール部でした。とにかくバスケット漬けの毎日でしたが、教室に戻れば普通の高校生。勉強をし、友達や仲間と遊び、甘酸っぱい恋愛もあったかもしれません。国見の高台から素晴らしい景色を見ながら過ごした3年間は僕の宝物です。

勉強や部活が全てではないと僕は信じています。勉強が出来るから、スポーツが出来るから、何かが人よ

り上手だから、それだけでみなさんの将来が良くなるという事ではありません。隣りにいる人を大切にすることや、今を大切に何が出来るか、何をしたいのかを自分なりに考え、感じ、生きる事が1番大切だと僕は思います。

自粛生活が続く、はじめは「学校が休みだからラッキー」と思ったかもしれませんが、思いのほか長く続き、当たり前だった学校での授業や部活が出来ない今、みなさん1人1人の考えと共にこの時を大切に過ごして下さい。

JR東日本 東北新幹線乗務員 柴崎彩子さん（高57回）（旧姓郡山）からの応援メッセージ



「仙台高校の後輩の皆さんへ」

仙台高校の生徒の皆さんこんにちは。卒業生の柴崎と申します。皆さん毎日不安な日々を過ごされていることと思います。遊びたくて仕方ないですよね。私も同じです。しかし、今はとにかくみんなが我慢、我慢ですね。

私の高校時代は陸上部に1年、その後語学部に所属しながらダンス愛好会を立ち上げました。最初は1年上の先輩と同級生の3人で活動をし、卒業時のメンバーは4人だけでした。現在は部活となり優秀な成績を残されていると知り、大変嬉しく思っております。今後の活躍も楽しみにしています。

現在は JR 東日本で東北新幹線の乗務員をしています。乗車されるお客様を安全かつ快適に目的地までお届けし、老若男女多様なお客様と接する、とてもやりがいのある仕事です。時には罵声を浴びせられ心に傷を負い、時には温かいお言葉をいただいております。様々なニーズのお客様に柔軟に迅速に対応しなければならず、判断力やコミュニケーション力が必要です。私は高校時代に、ボランティアを通してコミュ

正解なんてありません。きっとこの今が、皆さんの素晴らしく素敵で将来に繋がると僕は信じています。僕自身もそうです。頑張ります！一緒に明るい未来を作りましょうね！

ソルジャーは仙高のみんなの事を心から応援しています！！



ニケーション力を身につけました。ちょっとした一言や態度で、相手との関係が大きく変わること学びました。学生時代は好きな友達とだけ遊んでいても問題ないかもしれませんが、社会に出ればそうはいきません。急に苦手な相手とタッグを組まなければならないこともあります。社会に出て良好な人間関係を築くステップとして、是非、十代後半のこの時期に、苦手と感じている相手とも接してみてください。そしてその相手のことを受け入れてみてください。きっと将来の糧となることでしょう。何年後かに、同級生が商談相手やお客様になったり、一緒に働くことになるというのもよくあることです。友達は大切にしてくださいね。

最後に先輩として母として、校是である自主自立の精神は社会に出るためにとっても大切です。自分の子供にも育んで欲しいと、意識して子育てをしています。常にではなく、時々でいいので、自分の自主性・自立心を考えてみてください。皆さんの活躍を期待しています。

因みに同じ職場に仙台高校卒業生が3人います。JR 東日本でお待ちしていますね。



看護師 山家優菜さん（高58回）（旧姓阿部）からの応援メッセージ 「高校時代の友人は一生の友に」



初めまして 卒業生の山家と申します。自粛生活で大変な毎日ですが、高校生の皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。今回、在校生の皆さんにメッセージをと、このような機会をいただいたことを嬉しく思います。

わたしは看護師として勤務しています。現在は育休中ですが、おそらく近いうちに現場に戻ると思っています。新型コロナウイルスの流行により同僚が現場で戦っている今、自分には何が出来るだろうと日々考えているところです。

医療従事者への差別があるとニュースで耳にしました。とても悲しいです。一方で#医療従事者に感謝 ... というハッシュタグが SNS 上では見られます。おそらくこの現象はどちらも正しく、国民全員が新型コロナウイルスと戦い葛藤している証拠なのではないでし

ようか。

容赦なく人の命を奪っていくウイルスです。どの人にも家族、大切な友人、守るべき人がいます。現場を離れているわたしが偉そうなことは言えませんが、自粛という形でこのウイルスと戦えればと思っています。

いろいろなイベントが中止になり、3年生にとってはとても悔しい状況になっていると思います。わたしは3年生の時に現校長の町田先生に担任をしていただきました。先生には『高校時代の友人は一生の友になる』と言われました。その頃は先のことは想像もできませんでしたが、現在高校時代の友人は誰よりも信頼できる大切な人です。年に一回、数年に一回でも会うと安心できる、何でも相談できる存在です。そんな大切な人たちと高校生活残りの時間を、全力で駆け抜けてください。それはきっと素晴らしい思い出になるでしょう。在校生の皆さんの今後が輝かしいものであることを心から祈っています。

最後に仙台高校を支えてくださっている先生方、保護者の皆様、卒業生すべての方に感謝の気持ちを込めて...